



配色を考え、作品を組み立てます



講師の高見さん



真剣に制作に取り組む受講者たち

つるし雛講座は、6月～1月の毎月第1月曜日に、全8回の日程で開催されています。講師は、稲荷町在住の高見節子さんです。

大沢公民館のつるし雛講座は、今年度から始まりました。高見さんは、伝統を重んじた本格的な作品づくりを目指しており、ちりめん細工を取り入れながら仕上りのきれいな作品にもこだわっています。受講生たちは2月に開催される公民館まつりでの展示に向けて、それぞれ作品の制作に励んでいます。

広報紙でこの教室を知って受講した、相馬さん(森友)に聞きました。

Q 教室の感想は？
A 以前からやってみたかったの

で、講座がとても楽しく、開催日が来るのを、毎月指折り数えて待っています。

Q 今後の目標は？
A これからもずっと続けて行きたいです。作品もいろいろなものを作っていけたら楽しいですね。

ウサギやチョウ、ひょうたんなどのつるし雛の飾りには、それぞれ縁起物としてのいわれがあり、女の子の健やかな成長を願う親の気持ちが込められているとのこと。それらのメッセージを考えながら作品を作ること、非常に楽しいと高見さんは話してくれました。

伝統的でかわいらしいつるし雛。あなたもチャレンジしてみませんか。

20つるし雛講座(大沢公民館)

参加者の声でつなぐ

公民館の教室・講座紹介

市民文芸

川柳 選者 山本都留米

寝正月思ったよりも楽でない 石川みかん

年頭の願い巳年に持ち越し 倉沢美江子

サンタ待ち涙で眠った孫の笑み 佐藤恵

寿を祝うお屠蘇でえびす顔 手塚俊美

履歴書は男の顔に刻まれる 青木照雄

血圧も為替相場も高止まり 白土武夫

おやすみのチュウで育じい目尻下げ 田中福江

俳句 選者 伊藤清

すれ違ふ人なき里に木の実落つ 渡辺ミチ子

針箱に思ふ糸なし縁小春 上山淑子

巫子の髪和紙で束ねて神の留守 湯沢くに

菜を洗う頃に一葉もみじ落ち 池田三夫

独り居につる秋思の雨の音 徳本英子

来ぬ人を待つ縁側に散るもみじ 北崎君

紅葉狩りして来し山のシルエット 白土武夫

作品を募集しています！

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、郵送またはFAX、メールでご応募ください(二重投稿は不可)。

なお、作品中の漢字には、ふりがなを明記してください。

応募先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135・FAX(21)5109

短歌 選者 阿久津伸一

かかる時代を越えん我等に拓けゆく 宇宙生命体への進化 名古屋佳子

限りある命の道標横に見て時を凌ぎし夢を紡がん 関根眞佐子

リハビリの母を乗せたる車椅子再度の歩行を願ひつつ押す 狐塚昭子

苔むして瀬音に揺れる大文字草凜と立ち見る恋吾亦紅 芹澤りつ子

大木のメタセコイヤの影に居てしあわせなりき我の一世は 赤羽根よ志

青白き月の光りの注ぐ夜はそぞろ侘しく人の恋しき 北崎君

なぞ解きのやうにして読む長編に疲れてぞ飲むコーヒーうまし 白土武夫

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 日光市山内 2388-3 TEL:50-1200
ホームページ http://www.khmoan.jp/

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

市民割引券

(1枚につき、5名様まで有効)
小杉放菴記念日光美術館

切り取ってご利用ください

年始特別開館<2013・た・の・し・い・お・正・月>

美術館は、1月1日(火・祝)～3日(木)に特別開館します。

エントランスホールでは、双六や福笑いをはじめ、かるた、百人一首、独楽まわしなどの日本の伝統的な正月遊びの無料体験や、お楽しみ風船福引などの催しを行い、新しい年の始まりを祝います。

また、展覧会では、財団法人国立公園協会から寄贈いただいた、昭和の洋画界の代表的な画家たちによる、日本の国立公園をテーマに描いた絵画80点を前期・後期に分けて紹介します。

和やかな正月のひとつときを、ぜひ、美術館でお過ごしください。

◆展覧会「日光市新収蔵記念 美しき日本の風景 国立公園の絵画展」
会 期：前期…1月1日(火・祝)～2月17日(日)
後期…2月23日(土)～4月7日(日)
休 館 日：毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館し、翌日を休館)
年始休館…1月7日(月)～9日(水)
展示替休館…2月18日(月)～22日(金)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入 館 料：一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料
※()内は市民割引券を利用した際の料金です。



わだ、えいさく みほふじ
和田英作「三保富士」1953年

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

小杉放菴記念日光美術館

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣) ☎026217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)
休館日 毎週月曜日、祝日

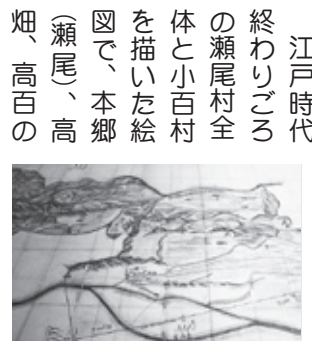


◆企画展紹介⑩「江戸時代の村をみてみよう」(その2)

●村絵図

主に江戸時代に作製され村の景観を描いた絵地図のことです。現代の地図とは違って縮尺や大きさは決まっておらず、特定の箇所のみを描いたものから村全体を描いたものまでさまざまでした。村絵図は写真のなかつた当時の村の様子を一目で把握することのできる視覚資料であり、署名などがあれば作製目的も分かる文字資料でもあります。

●嘉永2(1849)年瀬尾村絵図



嘉永2(1849)年
瀬尾村絵図

家並みや道、山、川などが詳細に描かれています。

絵図には隣接する各村役人の署名があり、村の境界を確定するために作製されたものであることが分かります。

●文政6(1823)年土呂部村絵図



文政6(1823)年
土呂部村絵図

企画展開催期間：3月31日まで

◆催し◆
◆昔の人が書いた「昔の村名を読んでみよう」コーナー開催中
◆開館30周年記念コーナー開催中